

令和8年度

鹿児島県総合教育センター研究提携校

鹿児島市立山下小学校公開研究会【二次案内】

令和8年11月13日（金）

深い学びを実現する 子供主体の授業開発

「これからの授業」をココで語り合おう！



8:30	9:00	9:30	9:45	10:30	10:45	11:30	12:45	13:35	13:50	14:40	14:55	16:15	16:35
受付	イントロダクション アウトプット	移動	公開授業 A	移動	公開授業 B	昼食・休憩	分科会 A	移動	分科会 B	移動	講演	リフレクション アウトプット	
30	30	15	45	15	45	75	50	15	50	15	80	20	



鹿児島市立山下小学校

〒892-0847 鹿児島市西千石町15-5 TEL: 099-226-6285



【山下小HP】

講師紹介

福井大学大学院 連合教職開発研究科

教授・研究科長 木村 優 先生



東京大学大学院教育学研究科博士課程修了、博士(教育学)。福井大学大学院教育学研究科機関研究員、同准教授、福井大学大学院 連合教職開発研究科准教授、ポストン・カレッジ客員研究員を経て、現職。専門は、教育方法学、教育心理学。主著書に「情動の実践としての教師の専門性」(風間書房、2015)、「『協働の学び』が変えた学校」(共著、大月書店、2018)、「授業研究」(共著、新曜社、2019)、「学校のウェルビーイング」(監訳、金子書房、2026)など。

昨年度も本校公開研究会の講師として、「わたしたちのウェルビーイングを見つけ、高める～学校のウェルビーイングを実現する作戦会議～」を演題に講演してくださいました。

令和7年度に
引き続き
再び来校！

参加申込について

1 申込方法

- 参加を希望される方や研究資料(データ)の閲覧およびダウンロードのみを希望される方は、申込期間内にURL、もしくは右の二次元コードから、リンク先の「Peatix」にてお申込みください。
- 申し込む際は、「Peatix」のアプリをダウンロードする必要があります。
【URL】<https://https://r8yamashitas yokoukaikennkyukai.peatix.com>
- 申込後に、参観する授業や分科会協議での「参加型」・「参観型」等について、アンケートにお答えください。



【申込フォーム】

2 申込期間

令和8年10月1日(木) 16:00 から 10月30日(金) 17:00まで

※ 初任者研修者、短期研修講座に参加される方も申込み忘れないよう、お気を付けください。

3 研究資料の配布

11月6日(金)までに「Peatix」のメッセージにてお知らせします。

4 参加費

2,000円 ※「Peatix」で申込みの際にお支払いください。

当日の運営について

- 一般参加者用の駐車場はありません。公共交通機関又は民間駐車場を御利用ください。
- 昼食・上履きにつきましては、各自で御準備ください。
- 車いすの利用や会場内での移動等に介助が必要な方は、事前に事務局まで御連絡ください。

We are
Challengers,

参加者の実践
×
私たちの実践
||
これからの授業



問い合わせ先(事務局)

鹿児島市立山下小学校 教諭 児玉 潤一郎

〒892-0847 鹿児島市西千石町15-5 TEL 099-226-6285 FAX 099-226-6284

① 受付 体育館 ▶ 8:30～9:00

- 受付の際に「Peatix」で取得した二次元コードが必要となります。
- 二次元コードが表示できる端末の用意をお願いします。

① イン트로ダクション&アウトプット

- イン트로ダクション ▶ 各分科会会場にて、全体論の説明をします。
- アウトプット ▶ 参加者一人一人が研究会に臨むに当たって、自己課題を設定します。

分科会会場 A ▶ 9:00～9:30

※ 各教科班の取組については、事前に配信を行います。本校ホームページにて御確認ください。

② 公開授業 A・B

各授業会場 ▶ A 9:45～10:30 B 10:45～11:30

国語科

分科会 ▶ 本館 4 階 音楽室

学びを生かして自分の言葉で表現する子供を育てる授業開発
～単元内自由進度学習Ⅱ～

学びが自分の言葉になる

公開授業	授業学級	単元名・教材名	授業者
A	1 年 2 組	てがみを かこう 「てがみで しらせよう」	西迫 愛菜
B	2 年 1 組	組み立てを考えて、お話を書こう 「お話のさくしゃになろう」	藤武 梓

共同研究者		指導助言者	
県総合教育センター 教科教育研修課 研究主事 古園正樹		県教育庁 義務教育課 指導主事 日高佳子	
		市教育委員会 学校教育課 指導主事 田代祥太	
		市教育委員会 学校ICT推進センター 指導主事 竹下誠	

道徳科

分科会 ▶ 本館 1 階 家庭科室

当事者意識をもち 多様な他者との
対話を通して自己の生き方を紡ぎ出す授業開発
ここまで任せて、大丈夫！～子供に委ねる、道徳科の挑戦～

公開授業	授業学級	単元名・教材名	授業者
A	3 年 2 組	自分に正直に「まどガラスと魚」 (A 正直、誠実)	福寿 克
B	6 年 2 組	信頼「ロレンゾの友達」 (B 友情、信頼)	平野 蓮士郎

共同研究者		指導助言者	
県総合教育センター 教科教育研修課 研究主事 泉宗弘		県教育庁 義務教育課 指導主事 福留忠洋	
		市教育委員会 学校教育課 指導主事 柏木辰公	
		市教育委員会 学校ICT推進センター 指導主事 白土師直弘	

算数科

分科会 ▶ 体育館

「やるぞ」、「ともに」、「らしく」で
実現する「深い学び」

解けた！で終わらない算数～比べて つないで 見えてくる～

公開授業	授業学級	単元名・教材名	授業者
A	6 年 1 組	拡大図と縮図	江崎 紘平
B	5 年 2 組	図形の面積	上野 那央佳

共同研究者		指導助言者	
県総合教育センター 教科教育研修課 研究主事 満尾明希子		県教育庁 義務教育課 主任指導主事 山崎晃	
		市教育委員会 学校教育課 指導主事 中原義秀	
		市教育委員会 学校ICT推進センター 指導主事 嶺山保記	

特別支援教育

分科会 ▶ 北校舎 3 階 理科室

特別支援教育における深い学びを実現する
子供主体の授業開発

「そのまま、キラキラ」のその先へ

公開授業	授業学級	単元名・教材名	授業者
A	自閉症・情緒障害 通級指導教室	自立活動 「自分キラキラプロジェクト」 ～こんどこそ、成功させよう～	柴山 愛美
B	自閉症・情緒障害 特別支援学級	自立活動 「自分キラキラプロジェクト」 ～3人であそぼう～	時吉 美穂

共同研究者		指導助言者	
県総合教育センター 特別支援教育研修課 特別支援教育研修係長 木原正晶		県教育庁 特別支援教育課 指導主事 上唐湊武	
	県総合教育センター 特別支援教育研修課 研究主事 有馬美和		
	県総合教育センター 情報教育研修課 情報教育研修係長 江口和洋	市教育委員会 学校教育課 指導主事 料所将志	

体育科

分科会 ▶ 北校舎 3 階 5 年 1 組

考え、動き、振り返り、みんなで伸びる・運動の楽しさを
実感する「子供主体の学び」を実現する体育科授業開発

「教える体育」から「自ら学ぶ体育」へ～子供が主役の学びでウェルビーイングを育む～

公開授業	授業学級	単元名・教材名	授業者
A	1 年 1 組 【体育館】	的当てゲーム 【E ゲーム ア ボールゲーム】	道岡 啓
B	4 年 1 組 【体育館】	フロアフットボール 【E ゲーム ア ゴール型ゲーム】	西口 鷹仁

共同研究者		指導助言者	
始良・伊佐教育事務所 指導課 指導主事 北原深志 (前県総合教育センター 教科教育研修課研究主事)		県教育庁 保健体育課 指導主事 阿部大亮	
	県総合体育センター 指導課 研修係長 谷口功		
	県総合体育センター 指導課 体育研修主事 前田大悟	市教育委員会 保健体育課 指導主事 田中時太郎	

外国語活動・外国語科

分科会 ▶ 東校舎 3 階
4 年 2 組

公開授業	授業学級	単元名・教材名	授業者
A	5 年 1 組 【イングリッシュルーム】	Unit7 What would you like?	平 世理奈

外国語科の授業は、県総合教育センターの短期研修
の提供授業として行います。
どなたでも参観可能ですが、分科会は短期研修講座
の受講者のみの参加となります。御了承ください。

短期研修講座担当者

県総合教育センター 教科教育研修課 研究主事 山内 誠

③ 分科会 A・B

各分科会会場 ▶ A 12:45～13:35、B 13:50～14:40

重要

「参加型」と「参観型」
に分かれて実施します。

重要

- ※ 「参加型」は、協議に参加し、意見を述べ、課題解決を図ります。
- ※ 「参観型」は、協議を参観し、意見を聞き、課題解決を図ります。
- ※ 「参加型」については、希望に基づき、先着順となります。

④ 講演

体育館 ▶ 14:55 ～ 16:15

【演題】 多様な子どもたちの「深い学び」を確かなものにするための授業デザイン

【講師】 福井大学大学院 連合教職開発研究科 教授・研究科長 木村 優 先生

⑤ リフレクション&アウトプット

体育館 ▶ 16:15 ～ 16:35

- アウトプット ▶ 「①イントロダクション&アウトプット」の際に設定した自己課題を基に、本研究会での学びを通して、どのような気づきを得ることができたかをまとめ、自己更新の確認と共有をします。